

報告の「勝負」で勝利 障がい者雇用の促進めざし、 ネットワークづくりを実現

報告の「勝負」で勝利
県政ひでし
実績

公明党 鈴木ひでし

令和5年6月の県議会 定例会で提言した「障がい者雇用の促進における「就労日当、保険加入等は県がネットワークづくり」に移行支援事業所」が両者負担します。

このような場合には、実際の仕事を体験すること
が企業への就労を目指す障がい者を支援する「就労日当、保険加入等は県が

ネットワークづくり」に移行支援事業所」が両者負担します。

この度、令和6年度から新たな取組が始まりますので、皆様にご

報告いたします。

県内企業で働く障がい者の数は、令和5年に2万7千人を超え過去最高となりました。

しかし、障がい者の中には、必要な支援があれば働けるのに、支援の受け方や相談先がわからないため就労できず、ま

た、企業の中には、障がい者を雇用したいと思っ

ても、やり方や進め方が分からないため、雇用に踏み出せないという

現状が多々あることが、私のもとに寄せられる相談から見えてきます。

このように、障がい者が働き生き生きと働ける場

をさらに増やしていくためには、障がい者、企業、就労支援機関の3者

をつないで就労を後押しすることが重要であり、

障がい者が担うべき役割であることが重要であり、

障がい者のテレワーク

3つ目は、ネット上の仮想空間「メタバース」

や分身ロボットなど、新たなテクノロジーを活用

した障がい者のテレワークです。

私はメタバースやロボットの可能性に早くから着目し、その活用を提

言してきました。これらを導入して障がい者をテ

レワークで雇用する企業を支援することで、身体

や心の問題で外に出られない方の就労支援に取り

組んでいくとのことですので。詳しくは、県雇用労

政課（045・210・5871（直通））にお問合せください。



**モットーは「まかせて安心！
いのちと生活を守る！鈴木ひでし」。**
第109代神奈川県議会副議長、県監査委員、公明党県議団団長などを歴任。厚生常任委員会、社会・健康対策特別委員会
HP <http://www.hideshi-suzuki.com/>

障がい者が活躍できる場を広げていくため、提言者の一人として、今後も県の取組をしっかりと見守って参ります。